

## 【当日の主な意見・感想】

今年度は各専攻（数学、物理学、化学、生物科学、高分子科学、宇宙地球科学）から最新の研究トピックスについて、発表しました。それぞれのテーマについて、学外委員からは専門的な意見、質問が多く出され、活発な意見交換が行われました。研究成果の企業等における利用や共同研究、産学連携の糸口を探る機会になれば幸いです。また、本研究科・学部の教育や理学的基礎研究に対するご意見を頂戴しましたので、一部ご紹介させていただきます。

- ・ 各分野の研究について、非常に分かりやすくご説明いただき、それぞれが素晴らしい成果につながっていることを大変嬉しく思います。
- ・ 「見える化」をテーマにした研究は、一般の方々に科学の面白さを伝えるアウトリーチ活動に非常に向いていると感じました。基礎科学の役割まで含めて発信されることを期待しています。
- ・ 昨今の「AI for Science」への予算投入の流れに対し、大学として AI との融合を積極的に進めるのか、あるいは純粋な原理探求を重視するのか、今後の方向性に関心があります。
- ・ AI の急速な発展は、理学の基礎研究の本質を問うものであり、大学が今後どのように AI と向き合い、バランスを取っていくのが重要であると感じました。